日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	設計計画 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名	学士コース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	『第3版コンパクト建築設計資料集成』／必要に応じ資料を配布				
担当教員情報					
担当教員	平山 浩樹 他	実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的					
この科目を受講する学生は、業界と結びついた実践的な課題を通して、高度な建築の設計技術について学ぶ。講師が実際に受注した注文住宅の設計に学生も取り組むことにより、実在する敷地と周辺環境、クライアントの家族構成や住み方の要望、建築法規に始まり構造と向き合い設計実務をどのように進めるべきかを検討し、施工可能な建築物を完成させるまでを学ぶのが学習目的である。					
到達目標					
この科目では、住宅を設計するときの様々な条件を理論的に全て満たしながら、現実的に建設することのできるかつクライアントが住みやすい建築空間を企画・提案し、設計実務における基本設計（企画・提案）に必要な各種図面とプレゼンテーション模型を一式揃え、クライアントにプレゼンテーション（説明）できる力を養うことを目標としている。またこれまで配慮して来なかった各部の納まり（ディテール）や家具にもこだわりを持ち、施工可能な現実性を持たせた建築作品を完成させることが到達目標である。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、神奈川県に実在する敷地とクライアントの家族を設定し、家族構成や住み方の要望を満たし、建築関連法規の条件のクリアした住宅を設計する。住宅設計は最もクライアントと近く、空間の良し悪しが現れるビルディングタイプである。敷地を取り巻く場所との関係性、施主の要望を満たした上でのアイデア、使い勝手や暮らしやすさを生む寸法体系やプランニングを練り上げ、「当たり前を考える住宅」を具体的な作品でまとめることを目指す。				
注意点	この授業では、指導教員と学生のコミュニケーションを重視する。敷地調査、スタディ模型、スタディ図面、中間発表、最終案、プレゼンテーションCAD図面・模型、プレゼンテーションシート、最終講評会へと作業が進んで行くが、毎回の指導教官とのチェックと意見交換が重要となる。「定石」を踏まえない根拠のない奇抜なアイデアの住宅も、クライアントの特徴が見えない建売のような住宅も望まない。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は作品を提出しても単位を与えない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	最終講評会に所定の成果物を揃えて期限通り提出したことを内容とともに総合的に評価する		
	小テスト	20%	中間発表に所定の成果物を揃えて期限通り提出したことを内容とともに総合的に評価する		
	レポート	30%	毎回のエスキス過程や制作過程のチェックおよび教員との意見交換の内容を総合的に評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	最終発表会でのプレゼンテーションにおける他者への伝え方の習熟度を総合的に評価する		
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	課題説明／講師紹介／敷地図作成	課題の主旨を理解する／講師による住宅プレゼンテーション／敷地図を描きヴォリューム検討			
2回	設計条件の整理／敷地調査の予習	所要室のスケールと機能図／敷地周辺状況を調べGW中に各自サーベイ／提出：敷地図＋機能図			
3回	エスキス（1）	ゾーニングと平・断の検討（全く異なる2案）／提出：敷地調査シート（A3×1枚）			
4回	エスキス（2）	どちらか案を選んで平・立・断の練り直し／提出：スタディ模型①②＋平・断ラフ図（セットで2案）			
5回	エスキス（3）	指導教員と話し合い平・立・断の最終案へ／提出：スタディ模型③＋平面図・立面図・断面図（セットで1案）			
6回	最終案の決定／中間発表会の準備	最終案の平・立・断CAD製図／提出：スタディ模型④＋平面図・立面図・断面図（最終案）			
7回	中間発表会（ゲスト講師）	スタディ模型と平・立・断でゲスト講師とセッション／各自のプレゼンテーション力の検証、他者の作品鑑賞			
8回	仕上材／CAD製図（1）	指導教員と外装材・内装材を検討／各自最終CAD図面（平・立・断）を進める／面積表＋仕上表			
9回	家具・設備・ディテール／CAD製図（2）	指導教員と家具・設備・ディテールを検討／各自最終CAD図面（平・立・断）を進める／平面図のチェック→手直し			
10回	ダイアグラム／CAD製図（3）	指導教員とダイアグラムを検討／各自最終CAD図面（平・立・断）を進める／断面図のチェック→手直し			
11回	プレゼンテーション模型（1）	プレゼンテーション模型（躯体削り出し）／提出：立面図＋ダイアグラムのチェック→手直し			
12回	プレゼンテーション模型（2）	プレゼンテーション模型（仕上げ材・組み立て）／提出：平・立・断のCAD各種図面＋面積表＋仕上表			
13回	プレゼンテーション模型（3）	プレゼンテーション模型（家具・人型・植栽等）／模型写真／提出：平・立・断のCAD各種図面＋面積表＋仕上表			
14回	プレゼンテーションシート（2）	表紙（作品名・模型写真・主旨文・ダイアグラム）／書類一式の印刷／提出：書類一式（A3）＋模型			
15回	最終講評会（ゲスト講師）	ゲスト講師による巡回と選抜プレゼンテーション／各自のプレゼンテーション力の検証、他者の作品鑑賞			